

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第 4 1 号 2020 年 4 月 1 日

3 月の「第 4 4 回コンサート～弦楽四重奏の魅力」は新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、中止と致しました。満席のご予約を頂いておりましたが、お客様の安全を最優先に考えての決断でした。公演を楽しみにされていた皆さまにはあらためてお詫び申し上げます。

さて、5 月の公演ですが、日程通り開催予定で準備を進めているところです。（変更がある場合は事前にお知らせします）引き続きよろしく願いいたします。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 4 1 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 4 5 回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第 4 6 回コンサート
 - ◆ 第 4 7 回コンサート
- 【3】 オペラの歴史♪
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第 4 5 回コンサート ■■

- ◇ 2020 年 5 月 17 日（日曜日）
14:00 開演（13:30 受付開始）
- ◇ 出演：嘉目真木子（ソプラノ）、高田恵子（ピアノ）
- ◇ プログラム（予定）
 - ◆ R. シュトラウス：明日！Op. 27-4
 - ◆ R. シュトラウス：献呈 Op. 10-1、何も！Op. 10-2、万霊節 Op. 10-8
 - ◆ アイルランド民謡：ダニー・ボーイ
 - ◆ イングランド民謡：グリーン・スリーヴス
 - ◆ 寺島尚彦：さとうきび畑
 - ◆ 高田三郎：くちなし
 - ◆ F. ガスパリーニ：愛しい絆よ
 - ◆ L. アルディーティ：口づけ
 - ◆ C. ドビュッシー：ロマンス L. 79-1、鐘 L. 79-2
 - ◆ F. プーランク：愛の小径
 - ◆ A. ヒナステラ：忘却の木の歌 Op. 3-1、月に寄せる歌 Op. 3-2
 - ◆ W. A. モーツァルト：オペラ『フィガロの結婚』より 愛の日はどこに
 - ◆ G. ヴェルディ：オペラ『オテロ』より アヴェ・マリア

◇ 料金：大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円

◇ 会場：大倉山記念館ホール

第 4 5 回ジョイフルコンサートは『あなたへ贈る歌～あなたの大切な人は誰ですか…？』と題して、お届けします。

嘉目真木子さんからメッセージが届いています

皆様、こんにちは。ソプラノの嘉目真木子です。
この度は5月という初夏の気持ちのよい季節にこのコンサートへ出演させていただけることとなり、大変嬉しく、楽しみにしております！
今回は『あなたへ贈る歌』と題しまして、大切な誰かを想う歌を皆様にお届けします。なんとドイツ語、英語、日本語、イタリア語、フランス語、スペイン語で歌います！
歌にはいろいろな国の、いろいろな人の想いが詰まっています。人は、言葉だけでは足りないその想いを伝えるために、歌うのかも知れませんね。そしてそれは万国共通。
皆様が大切な人を想いながら聴いてくださったらいいな、と思います。
どうぞお楽しみに！

第45回の大倉山ジョイフルコンサートは嘉目真木子さんのソプラノ独唱演奏です。コロナウィルスの感染拡大で気分が滅入ることが多いですが、「大切な人を想って聴いて欲しい」という嘉目さんのメッセージに救われた気がします。5月のコンサートの頃にはこの問題が終息していることを祈ります。

☆ヴェルディ/オテロ アヴェ・マリア

●ヴェルディ

ヴェルディは19世紀を代表するイタリアのロマン派音楽の作曲家であり、主にオペラを作曲しました。「オペラ王」とも言われています。
「リゴレット」「椿姫」「アイダ」等有名なオペラを数多く書いていますが、作曲だけではなく、父親が経営していた農園を継ぎさらに大きくしたり、議員に選ばれたりと音楽以外の仕事にも携わっています。とても多才な人だったのだと思います。

●オテロ/アヴェ・マリア

「アイダ」を書いた後ヴェルディは5年程音楽活動から遠ざかっていたそうです。「アイダ」はヴェルディが長年目指していた曲と劇の融合を実現できたものであり、劇全体を繋ぐ役割を独唱、合唱が果たすことができました。観客を魅了し、高く評価されました。そのため既に60歳となっていたヴェルディは十分に達成感を感じていたのかもしれないし、これからの作品の評価が低いと晩節を汚すと思ったのかもしれない。

楽譜出版社リコルディ社の総帥ジューリオ・リコルディはヴェルディの新しい作品としてシェイクスピアの「オテロ」を考えていました。最初ヴェルディは渋っていましたが、曲作りに取り掛かります。しかし作成中にワーグナーの訃報を知り、ショックで又書けなくなってしまいます。ヴェルディはドイツ音楽を毛嫌いしていて、ワーグナーにはライバル心をむき出しにしていたそうですが、才能は認めていて「悲しい、悲しい、悲しい、その名は芸術の歴史に偉大なる足跡を残した」と書き残したそうです。

それでもその後「オテロ」の台本化に取り組んだアッリーゴ・ボーイトと5年以上意見交換を行い、「オテロ」は1886年に完成しました。スカラ座の初演は大成功で、ヴェルディの劇と音楽の融合は更に高まったといえます。

「オテロ」はシェイクスピアの4大悲劇の1つです。

「アヴェ・マリア」は夫オテロの部下ヤーゴの策略で不貞を疑われた妻のデズデーモナが夫に殺されるかもしれないことを覚悟し、ただマリア様に向かって祈りを捧げる歌です。
結局デズデーモナはオテロに殺され、全てはヤーゴの陰謀だったと知ったオテロも最期自害して終わります。

現在の閉塞感漂う毎日が早く普通の日常に戻ることを祈らざるを得ません。
(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第46回コンサート■■

◇2020年7月19日（日曜日）

◇出演：黒岩航紀（ピアノ）

◇プログラム（予定）

◆ショパン：24の前奏曲より「雨だれ」Op. 28-15

◆ドビュッシー：版画より2. グラナダの夕べ

◆アルベニス：イベリア第1巻より2. 港

◆リスト：スペイン狂詩曲 S. 254

他

★予約受付開始：2020年5月18日（月曜日）午前9時より

■■第47回コンサート■■

◇2020年9月20日（日曜日）

◇出演：小暮浩史（ギター）

【3】オペラの歴史♪

オペラはよく「総合芸術」だと言われます。音楽、文学（台本）、舞台美術そしてバレエ等の要素が必要になってくるからです。オペラの誕生がいつからかと定義することは難しいけれど、一般的には「全体が作曲された劇」が作られた時がオペラの誕生とされています。それは16世紀末のフィレンツェです。

16世紀まで音楽は貴族が自ら奏で歌って楽しむためのもので、聴き手の存在を必要としていませんでした。しかし、17世紀に入り、貴族は自分で音楽を奏でるのではなく職業音楽家を雇い、貴族は観客となり音楽を「聴く」ことを目的とし、劇場での上演が始まりました。この時代、作曲家はオペラを作曲できなければ音楽家ではないと言われ、音楽会の目玉演目はいつも声楽でした。声楽家が重宝され、優れた歌手の報酬は作曲家の2倍から10倍ともいわれています。モーツァルトもオペラでの成功を望んでいました。

1789年のフランス革命後は、貴族が自分達だけの演奏会を開く形式は減っていき、音楽家自身が興行主と組んで聴衆からお金を集め、誰もが聴きに來られるオープンな演奏会が主流となっていきました。演奏会のチケット代が収入源なので、出演者が多く舞台美術等が必要な上演コストが大きいオペラより、コストを抑えられる器楽曲で客入りのよいものが選ばれていきました。こうして、聴き手が貴族から市民に変わった時からオペラと器楽のポジションは逆転していきます。またイタリア語で書かれたオペラには言葉（言語）の壁があり、それに対して器楽曲は国境を越えてグローバルに広がっていきました。ベートーヴェンの時代です。

「オペラの黄金期」は19世紀です。宮廷、貴族階級のものであったオペラが、裕福な市民階級の娯楽になりました。ちょっとリッチな気分が味わえるからです。彼らは自国語のオペラを求めました。ドイツのウェーバーやワーグナー、チェコのスメタナやドヴォルザーク、ロシアのムソルグスキーやチャイコフスキーなど各国に自国語のオペラができました。オペラの内容も変化し、前世紀まで主流だった神話や伝説から、近い歴史に題材をとったわかりやすいメロドラマが好まれるようになりました。現在上演されているオペラの大半は、18世紀半ばから19世紀の作品です。作品数も多く、いろいろな種類のオペラがあります。『ラ・ボエーム』『トスカ』『蝶々夫人』『トゥーランドット』『カルメン』『リゴレット』『椿姫』『アイダ』『オテロ』『タンホイザー』『ローエングリン』『ニーベルングの指環』『サロメ』『バラの騎士』など。

日本では都市伝説のように言われているのが「女性の名前の付いたオペラは売れる」ということ。実際、『トスカ』『蝶々夫人』『椿姫』『トゥーランドット』『アイダ』『カルメン』などは大変に人気があります。

日本でもヨーロッパ流のオペラは生まれています。その場合、日本語をいかに聴きとりやすくするかということが難しいのですが、その点をクリアしレパートリーとして愛されている作品が團伊玖磨の『夕鶴』です。(のん)

【４】コンサートのアンケートから

いつもはアンケートに寄せられた、満足度(コンサート内容)評価や自由記入欄(ご感想など)のコメントなどをご紹介します。

前回の公演が中止となりましたので、直近10回分(第34回~第43回)の集計結果から主な項目を紹介します。

【回収総数】: 538枚(入場者総数に対する回収率は70%)

【性別】 男性45%、女性55%

【年齢】 10代5%、20代2%、30代3%、40代9%、50代17%、60代22%、70代以上42%

【お住まい】 横浜市港北区 38%、横浜市(港北区以外) 24%、県内(横浜市以外) 11%、東京都 22%、その他 5%

「その他」には、千葉県、埼玉県、愛知県、長野県など。

【コンサート情報入手先】 比率の高い順に、前回のコンサート 36%、家族・友人・知人 15%、チラシ 10%、演奏者 10%、スタッフ 8%、メールマガジン 7%、ホームページ 6%、その他 4%(以下省略)

【参加の決め手】 演奏者38%、プログラム24%、会場24%、家族などの誘い11%、スタッフの誘い3%

【次回以降の参加】 今後も参加したい49%、都合が合えば45%、わからない6%

なお、「ご希望欄(演奏者、曲目、楽器など)」にも、毎回多くの方からご回答を頂いています。ご希望内容は、ジョイコンの担当部会(プレーヤー部会)にてコンサートの企画(演奏者選定など)の際に参考にさせて頂いております。

【編集後記】

関東地方の桜(ソメイヨシノ)は、例年よりかなり早く満開になっているようです。東京では、3月22日に観測史上2番目に早い満開の発表がありました。ただ今年は、新型コロナウイルスの感染拡大が続いているため、イベント等も中止になり、外出自粛も出ているので「桜の名所」は避けたいところです。代わりに、近隣の小公園や学校周辺、遊歩道や河川敷などを歩いてみるのは如何でしょうか。運動不足解消にもなりますし、新しい発見があるかも…。(お)

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で

「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込みはこちら

ホームページ: <https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話: 080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー(PDFファイル)はこちら

ホームページ: <https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止/アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行: 大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>